

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県愛西市

自治体名：愛知県愛西市

担当課名：生涯学習スポーツ課

電話番号：0567-55-7137

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	66.68km ²
人口	60,457人 (令和7年1月1日現在)
公立中学校数	6校
公立中学校生徒数	1,521人 (令和7年2月1日現在)
部活動数	運動部 38部 文化部 9部
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

当市では人口減少とともに中学校の生徒数も減少傾向にあり、令和5年度時点では1,581人であったが、令和11年度時点では1,247人まで減少する見込みである。

現在、当市の文化部活動は吹奏楽部、オーケストラ部をはじめとする9部活動が活動を行っているが、部活動数も減少傾向にあり、市内6校の公立中学校のうち、2校については文化部を設置しておらず、運動部においても部員の減少により廃部となった種目がある。

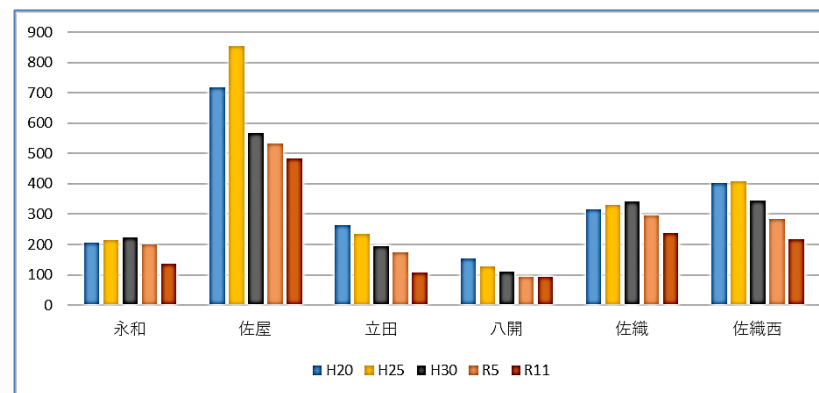
また、部活動顧問においては土日に大会等が開催される場合は引率が必要であり、長時間勤

務となるなど顧問の業務負担も懸念されている。

このような現状が背景にあり、これまでの部活動指導体制で部活動を実施していくことが困難になると予想されるため、部活動の存続や教員の働き方改革の観点から、部活動地域連携、地域移行について検討を進めている。

令和5年度より1中学校1部活においてモデル事例として実証事業を実施して事業の検証を行っているが、部活動地域連携、地域移行に向けてどのように進めていくか、市としての方向性を検討する必要がある。

●中学校別の生徒数推移（各年5月1日現在）

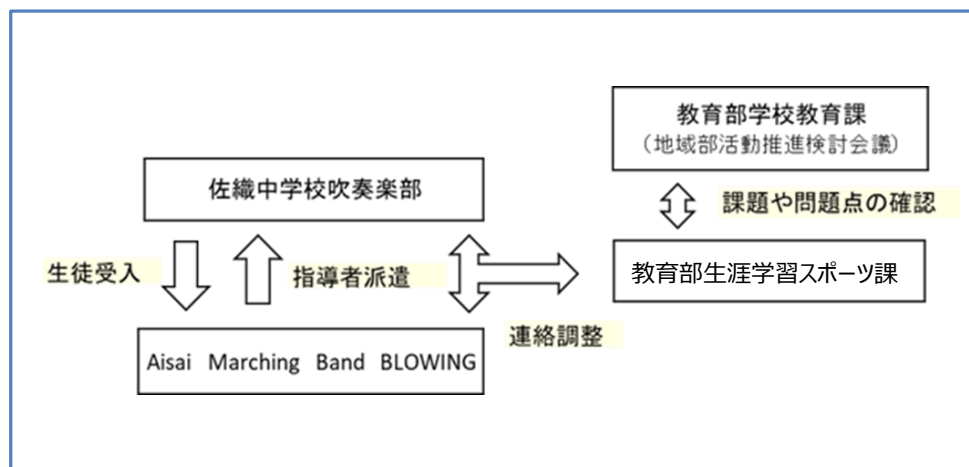


出典：「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・部活動地域連携・地域展開の方向性を検討
- ・部活動地域移行実証事業を実施、成果と課題等の確認

◎首長部局

- ・予算の確保

年間の事業スケジュール

- 令和6年4月 Aisai Marching Band BLOWING Jr.設立
- 令和6年7月 実証事業実施
愛知県吹奏楽コンクール西尾張大会
(学校部活動として出場)
- 令和6年9月 マーチングコンテスト愛知県大会
(地域クラブとして出場)
- 令和6年11月 あいさい音楽祭
「あいさいフレッシュフェスティバル」開催
市内中学校及び地域クラブ等が参加
- 令和6年12月 アンサンブルコンテスト西尾張大会
(学校部活動として出場)
- 令和7年1月 実証事業アンケートを実施
(佐織中学校吹奏楽部員・保護者・
吹奏楽部顧問・BLOWING指導者を対象)
- 令和7年2月 中部日本個人・重奏コンテスト
(地域クラブとして出場)
- 令和7年3月 Aisai Marching Band BLOWING Jr.
第1回定期演奏会開催

2.実証内容と成果



地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（1 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	団員・保護者等で運営

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは 末尾に（新）を 付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営 スタッフ数 （他クラブと 兼務）	会費	大会参加方法
Aisai Marching Band BLOWING Jr.	地域活動 団体	吹奏楽 （マーチング）	週 4 回	主に 毎週日曜日 9時～18時 の間に活動	1 年：15人 2 年：9人 3 年：9人	令和6年 7月5日～ 令和 7 年 3月31日 （実証事 業実施期 間）	市内学校 体育館・ 佐織体育館 等	6 人 （外部指導 者含む）	団員・ 保護者等 で運営	月会費 3,000 円 （学生）	吹奏楽コンク ール：部活動 マーチングコン テスト：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 愛西市において「あいさい音楽祭 あいさいフレッシュフェスティバル」を実施。
市内中学校吹奏楽部等のほか、今回の地域移行実証事業の対象となる地域クラブや、市内音楽活動団体が出演し団体・世代間の交流を図る。

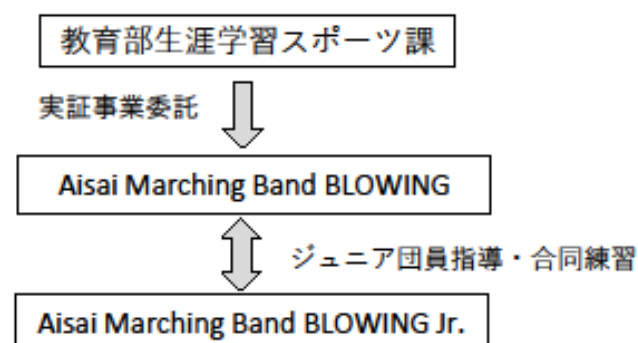
2.実証内容と成果

主な取組例

●Aisai Marching Band BLOWING Jr. 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	吹奏楽（マーチング）
運営団体名	Aisai Marching Band BLOWING
期間と日数	吹奏楽：令和6年7月5日～令和7年3月31日 （実証事業の期間） 月4回程度
指導者の主な属性	学生、社会人、外部指導者
活動場所	市内学校体育施設 佐織体育館 など
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	36,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 団員1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●代表者

役割：団体の統括を行う

●顧問

役割：指導者、市、関係団体等との連絡調整を行う

●指導者（団体指導者 5名・外部指導者 1名）

役割：団員への指導や指導者講習会により指導者の育成を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備／ イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項（ア）

- ・市、学校、関係団体の連絡調整のための体制整備を行う。
- ・学校部活動における指導者派遣については、部活動顧問と団体指導者の間で連絡調整を行う。

取組の成果（ア）

市担当者、部活動顧問、団体指導者との間で部活動地域移行実証事業に関する連絡調整のほか、地域クラブによる学校部活動への指導者派遣の日程調整・指導内容について共有することができた。

取組事項（イ）

- ・外部講師を招き講習会を行うなど、生徒を指導できる技術を身につけるとともに新しい指導者の育成を図る。

取組の成果（イ）

外部指導者による講習会を随時実施し、地域クラブ団員に対して演奏技法などの指導を行った。
中学生団員や指導者が一緒に講習会に参加し、中学生と一般団員との世代間交流の場となり、中学生の技術向上と指導者の質の向上につながった。

今後の課題と対応方針

現在地域クラブにおいて全国大会出場経験がある団員等が指導者として指導を行っているが、今後も継続して指導を行っていたためにも、新たな指導者の育成が必要となる。

外部指導者による講習会を継続して実施することにより、地域クラブにおける新しい指導者の育成を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化／ エ：面的・広域的な取組

取組事項（ウ）

- ・ 地域クラブにおける活動のほか、地域クラブより学校部活動へ指導者を派遣する。

取組の成果（ウ）

地域クラブにおける活動のほかに、地域クラブの団員のうち全国大会出場経験者など指導者を地域クラブにおいて確保し、学校部活動へ派遣・指導を行った。

派遣については学校側の要請を受け、地域クラブにおいて指導者の調整を行った。

指導者は学校部活動において、パートセッションごとに基礎練習や演奏曲の指導を行った。

取組事項（エ）

- ・ 地域クラブにおいて特定の部活や地域に限らず団員を受け入れる。

取組の成果（エ）

佐織中学校吹奏楽部の生徒に限らず、運動部の生徒や市内及び市外
の他中学校の生徒も団員として受け入れ、特定の部活や地域に関わ
らず活動を行っている。

地域クラブ団員の構成

- ・ 佐織中学校吹奏楽部員 20人
 - ・ 市内他中学校生徒 8人
 - ・ 市外中学校生徒 5人
 - ・ 小学生 2人
- 合計 35人（うち運動部員2人）

今後の課題と対応方針

学校部活動への指導者派遣については部員や保護者から概ねよいという評価をであるが、コンクール前などに集中的に指導者派遣を行うため、継続的な派遣を要望する意見もある。

現在は検証事例として実施しているため、将来的な地域移行に向けて指導の実施方法なども検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実／ カ：参加費用負担の支援等／ キ：学校施設の活用等

取組事項（オ）

- ・ 運営団体を母体として、中学生のみで構成する団体を設立する。
- ・ 事業に関するアンケート調査を実施する。

取組の成果（オ）

運営団体「Aisai Marching Band BLOWING」を母体として、小学5年生から中学生で構成する「Aisai Marching Band BLOWING Jr.」を設立し、ジュニア団員のみの練習や演奏会などを実施するとともに、愛知県マーチングコンテストにおいて地域クラブとして出場した。

また、佐織中学校吹奏楽部員、保護者、部活動顧問、地域クラブ指導者を対象に事業アンケートを実施した。

取組事項（カ・キ）

学校体育施設開放制度を利用して、学校体育館等で活動を行うことにより活動費用を抑え、受益者負担の軽減を図る。

取組の成果（カ・キ）

市内学校体育施設を学校行事等に支障のない範囲で一般団体に開放しており、地域クラブの練習場所として利用している。

利用料は照明代のみ（昼間利用の場合）であり、会場費を抑えることができる。

鍵の開閉については体育施設指定管理者に委託しているため、学校の教員が鍵の開閉を行うことはなく教員の負担が増えることはない。

今後の課題と対応方針

学校体育施設の利用については優先的な利用ではなく、地域クラブにおいて利用できる施設を確保するため、活動場所が練習日ごとに異なる。

また音に関する近隣への配慮が必要となる。

利用できる施設には限りがあり活動場所の優先的確保は現在のところ難しいため、地域クラブにおいて活動場所に応じた練習を実施する。

2.実証内容と成果

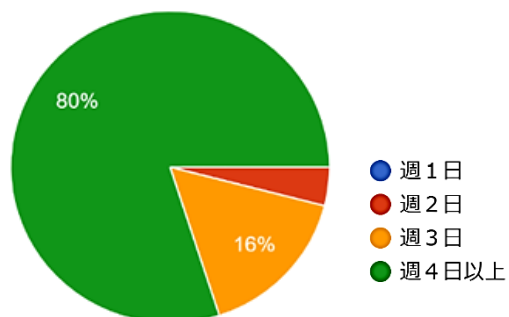
アンケート結果・参加者の声

●アンケート調査について

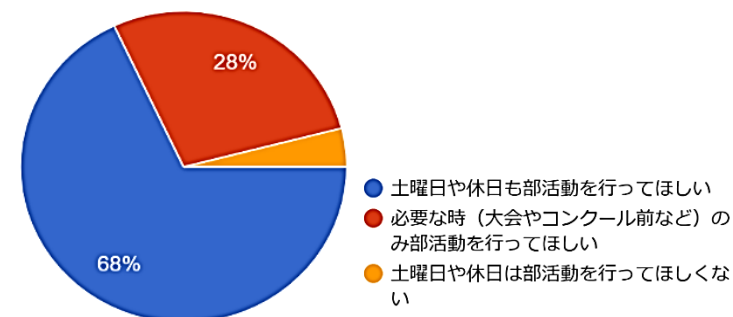
- 1 調査実施期間
令和7年1月22日～2月5日
- 2 調査対象者
 - ・佐織中学校吹奏楽部員・保護者
 - ・佐織中学校吹奏楽部顧問
 - ・Aisai Marching Band BLOWING指導者
- 3 調査方法
インターネットによる回答
- 4 回答数
33名

●「文化部活動地域移行実証事業に関するアンケート調査 集計結果」より一部抜粋

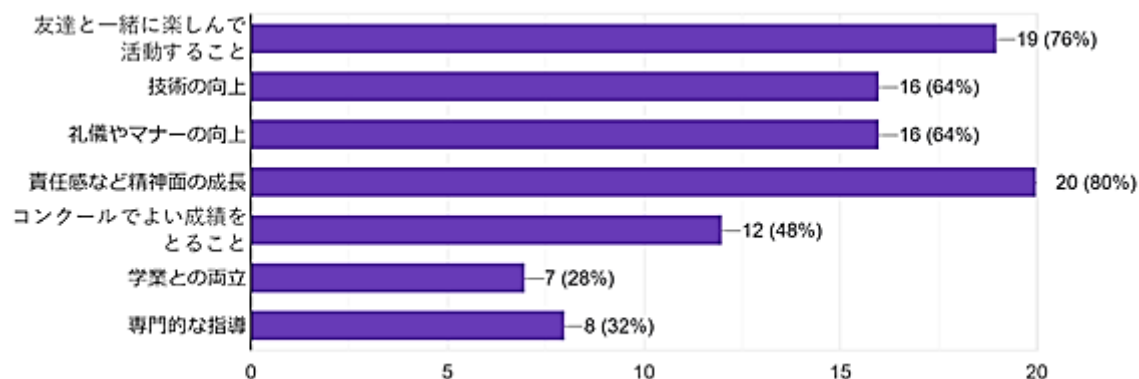
Q.部活動の活動時間は週何日がいいと思いますか？
(土日を含んだ日数でご回答ください)



Q.土曜日や休日の部活動についてどう思いますか？



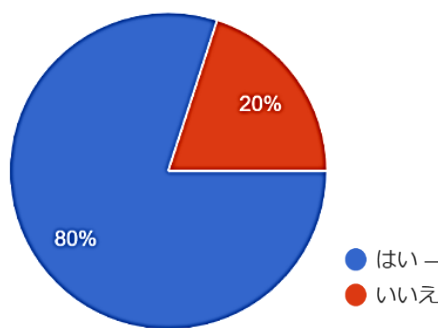
Q.部活動について、特にどのようなことを期待しますか？



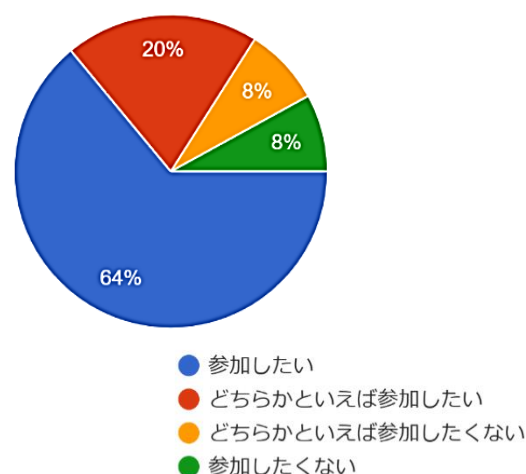
2.実証内容と成果

アンケート結果・参加者の声

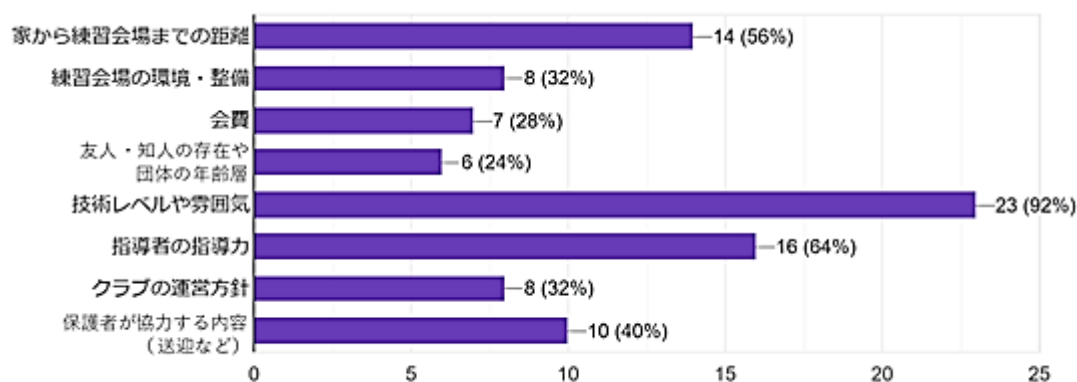
Q.Aisai Marching Band
BLOWINGに入団していますか？



Q.部活動とは別の地域クラブへの
参加についてどう思いますか？



Q.地域クラブに対してどのようなことを
期待しますか？

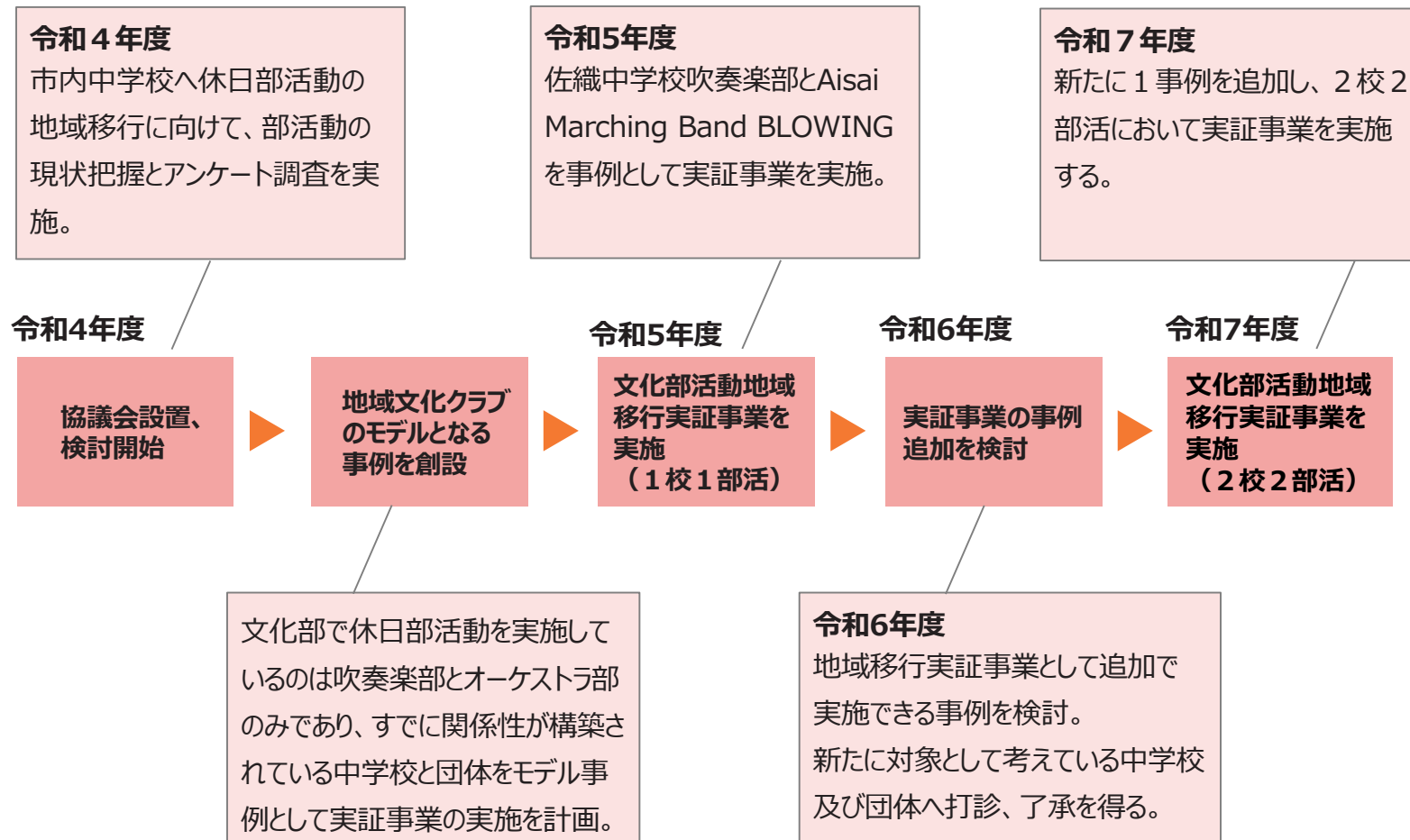


●文化庁活動地域移行実証事業や 部活動地域移行についての意見

- ・ 学校外での講師指導により、自分たちの課題が分かりやすく、メンバー全体がやる気になっています。ただ、保護者がここまで介入しなければ成り立たないのとは思う。
- ・ 部活動だけでは活動時間が少ないと思います。学校部活動での指導が困難なら、地域移行を進めて、やる気のある子供たちの練習機会を増やしてほしいです。指導者と練習場所の確保をお願いしたいです。
- ・ 練習場所の確保に苦労するようなので、市内に騒音苦情が入らないような施設が十分にあって、予約が取りやすくなると望ましい。
- ・ 練習場所の確保が、もっと簡単になるとよいと思います。
- ・ 今後も地域移行に向けての動きが進むことを期待しています。

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度から2年間モデル事例として、学校部活動と関係性が深い団体を取り上げて実証事業を実施した。

初年度は学校部活動における地域クラブ指導者による指導と、地域クラブにおける中学生の受入及び指導を行い、2年目は初年度の事業内容に加えて、地域クラブにおいて中学生を主体とした新たな団体を設立し、活動を行った。

また、愛知県吹奏楽連盟が主催する大会等において地域クラブとしての出場も可能であることから、令和6年度は地域クラブとして大会等に出場した。

地域クラブには佐織中学校吹奏楽部員だけでなく、市内他中学校の生徒や市外中学校の生徒も在籍しており、特定の地域に限らず中学生を受け入れているが、学校部活動とは別の地域クラブへの参加については「参加したくない」という意見もあることから、部活動地域移行を進めていくためには関係者に対して説明を行い、理解を得ることが必要と考える。

●成果の評価

学校部活動における指導者派遣については、部活動顧問・地域クラブ担当者・市担当者との連絡体制をつくることにより、派遣日の指導内容についてそれぞれ関係者が共有することができた。また地域クラブでの活動については、多くの吹奏楽部員が地域クラブに所属して活動を行った。

事業アンケートにおいて、実施事業の内容については生徒や保護者から概ねよい評価をいただいた。一方で練習場所の確保や音の問題など活動環境の整備に関する要望もあり、活動環境の整備については地域移行を進めていく上での課題である。

部活動や地域クラブに対して求める事項については、部活動においては技術の向上だけでなく、精神面での成長や友達と一緒に楽しんで活動することを重視する傾向が見られ、地域クラブにおいては会費など金銭的な面よりも地域クラブの技術レベルや雰囲気、指導者の指導力などを重視する傾向が見られた。

部活動地域移行に向けて、地域クラブには技術面の指導はもとより、楽しく活動できるような団体の雰囲気づくりも求められる。

●今後に向けて

モデル事例による実証事業について、令和7年度において新たに1事例を追加して2校2部活を対象とした検証を実施するとともに、市内中学校への部活動指導員の配置についてもあわせて予定している。

2.実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【地域クラブから中学校への指導者派遣】



【地域クラブでの指導①】



【地域クラブでの指導②】



【地域クラブでの指導③】

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

● 地域連携・地域移行に向けた今後の方向性

令和5年度～令和6年度	・1 中学校 1 部活動において、文化部活動地域移行実証事業を実施
令和7年度	・2 中学校 2 部活動において、文化部活動地域移行実証事業を実施 ・市内公立中学校 6 校に部活動指導員を配置 練習指導や部活の引率を行う。 (運動部：各中学校 2 名ずつ、文化部：2 中学校へ 1 名ずつ) ・コーディネーターを 1 名配置 部活動指導員の連絡調整や研修会を実施する。
令和7年度～令和9年度	・部活動指導員の確保
令和9年度	・すべての部活動において部活動指導員を配置
令和10年度	・教員による休日の部活動指導の廃止

将来的には、部活動指導員を中心とした地域クラブの設立を目指す。